

黒島でボランティア草刈り

川西会が清掃作業

市内のボランティアグループ川西会（田口政敏会長）が6月26日、鷹島町黒島地区で清掃作業を行いました。

同会は県の河川里親制度の指定を受け、毎年志佐川周辺の清掃活動を実施。今回は会員の出身地で高齢化が進む同島に貢献したいと清掃作業を計画しました。

あいにくの雨天となったこの日は、合羽などを着た会員約20人が黒島港から黒島集落までの市道や周辺の沿道を刈払機などを使って約2時間かけて清掃を行いました。また、作業後は地域の住民とバーベキューを行い、親睦を深めました。



感謝の気持ちを込めて

星鹿少年ソフト

星鹿町の少年ソフトボールチーム「星鹿少年ソフト」が6月24日、市内で開催される「松浦ライオンズクラブつつじ杯少年ソフトボール大会」を前に、羽黒神社の清掃を行いました。

20年以上前から交流を深めている長与町のソフトボールチームが、同大会時に毎年羽黒神社に宿泊させてもらっていることから、長与町の選手を気持ちよく迎えるためと同神社への感謝の気持ちを込め毎年清掃を行っています。この日参加した部員、保護者など12人は、ほうきを手に落ち葉を掃き集めました。部員たちは「部員が少なく、つつじ杯に出場できず残念ですが、長与町の選手との交流を楽しみにしています」と話していました。



子どもの声に耳を傾けて

松浦市子育て支援事業公開講座

松浦市子育て支援事業公開講座（松浦市保育会主催）が6月27日、きらきら21で開催されました。

「今が大事なとき。まだ、間に合う」をテーマに、青少年問題カウンセラー外松太恵子さんが講演を行いました。

外松さんは「人の話を聞く、人の喜びを伝える、人の悲しみが分かる、我慢ができる子どもに育てるために、子どものどんな小さな声にも耳を傾け、深く子どもとかわかることが重要」とし、母親を意味するMAMAの頭文字に当てて「M見放さない、A諦めない、M前向きに生きる、A（どんなものも）愛することが子育てには大切です」と語り掛けました。この日集まった保育士や保護者など約70人は、熱心に聞き入っていました。



犯罪予防は犯罪予測から

防犯まちづくり講習会

防犯まちづくり講習会（長崎県など主催）が6月26日、文化会館で開催されました。

「子どもと街を犯罪からどう守るか」～地域安全マップでつくり・絆づくり～と題して、長崎県安全・安心まちづくりアドバイザーを務める立正大学の小宮信夫教授が基調講演を行いました。

この日集まった約330人を前に、小宮教授は「犯罪者が好む場所は、だれもが入りやすくだれからも見えにくい場所。また落書きやごみが散乱する場所なども犯罪者の心理に影響する。危険な場所を予測した上で地域安全マップづくりが必要です」と話されました。講演後は、地域安全マップ作製の事例報告がありました。



思い出詰まった校舎に「ありがとう」

御厨小学校さよならフェスタ

御厨小学校（中田順子校長）の校舎改築に伴う新校舎への移転を前に、校舎とのお別れ行事「さよならフェスタ」が7月4日、御厨小学校で開かれました。

現在の校舎は、昭和40年に完成（一部は昭和37年完成）。老朽化が進んだ上、耐震強度も不足していました。

この日は、保護者や地域の人など約200人が集まる中、児童は学年ごとに校舎にまつわる劇や歌を発表したり、校舎への感謝のことばを述べたりしました。



短冊に願いを込めて

ほしか保育園七夕のつどい

ほしか保育園（山口太子園長）の七夕のつどいが7月3日、同保育園で開かれ、園児や保護者、地域の人など約350人でにぎわいました。

この日園児は、願い事を書いた短冊やササ飾りをササ竹に結び付け、七夕コンサートではギターやマンドリン、フルートやピアノのアンサンブルを楽しみました。また、夜店で買った手作りカレーや焼きそば、たこ焼きなどに舌鼓を打ちながら地域の人との交流を楽しみました。

七夕のつどいで飾った小さいササ飾り3本は、ありがとうの気持ちを込めて星鹿駐在所や星鹿郵便局、星鹿公民館に贈りました。



タンザニアでの活動を報告

青年海外協力隊員が帰国報告

独立行政法人国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として派遣されていた市職員の久保智里さんが6月30日、市長に帰国の報告を行いました。

久保さんは、アフリカ・タンザニアのイリング州立図書館に司書として派遣され、データベース化や子どもたちへの読み聞かせなどを実施。2年間の活動を終え、帰国した久保さんは「活動する中で現地の職員の意識が変わり、データベース化に積極的に取り組むようになってくれた。現地での経験をこれからの仕事に生かしたい」と話し、友広市長は「貴重な経験を生かし、市民のために活躍されることを期待しています」と話しました。



時節ごとの気持ちを詠む

第20回西海短歌祭

第20回西海短歌祭が7月3日、文化会館で開催されました。

県内を中心とした短歌愛好家で作る西海短歌連盟（山口礼子会長）が、会員同士で学習しながら親睦を深め、地域の文学の発展につなげたいと開催しているものです。この日は、会員や近隣の短歌愛好家約30人が参加。事前に寄せられた短歌54首の作品の中から、互選賞や選者選賞などの入選作品が決まりました。市内の入賞者は次の通りです（敬称略）。

【互選賞】 松浦市賞 浦上シズエ

平戸市文化協会賞 百枝悦子

松浦市文化協会賞 石川元治

【選者選賞】 石川元治、百枝悦子、浦上シズエ

